Panasonic

保管用

保証書別添付

施工説明付き

取扱説明書

住宅用照明器具（シーリングライト）

PRODUCEDINING

プロデュースダイニング

品番 HFAZ2600,HFAZ2600N(ホワイト)
HFAZ2601,HFAZ2601N(シルバー)

もくじ

ご使用になる前に	安全上のご注意・・・・・・・・・・・・ 2〜3 使用上のご注意・・・・・・・・・・・・ 3 付属部品の確認・・・・・・・・・・・・ 3 各部のなまえとはたらき・・・・・・・ 4〜5 照明器具を取り付ける・・・・・・・・ 6〜8
使いかた	本体の外しかた・・・・・・・・・・・・ 8 リモコンで操作する・・・・・・・・・・ 9 全灯ボタンを押したときの明るさを変更する・10 器具のチャンネルを変更する・・・・・ 10 壁スイッチで操作する・・・・・・・・ 10 リモコンボックスについて・・・・・・ 10
必要なとき	電池交換について・・・・・・・・・・ 10 ランプを交換する・・・・・・・・・・・ 11 お手入れについて・・・・・・・・・・・12 故障かな？と思ったら・・・・・・・・・12 仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・12 保証とアフターサービス・・・・・・・・12

上手に使って上手に節電

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用前に「安全上のご注意」（2〜3 ページ）を必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意　必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

⚠ **警告**	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

禁止

■次のような場所には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

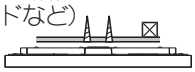
・平面部が1500mm未満の場所

直径1500mm未満の凹部　直径1500mm未満の凸部

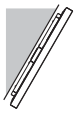
・凹凸のある場所（例：下図）

船底天井　格子天井　竿縁天井

・補強のない薄い場所（ベニヤ板、石こうボードなど）



・傾斜した場所



●この器具は水平天井面取り付け専用です。

禁止

■次のような配線器具には取り付けない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

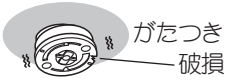
・出しろの少ないもの

フル引掛ローゼット

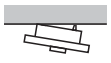
引掛埋込ローゼット
引掛露出ローゼット

・シーリングハンガーが取り付けられたもの

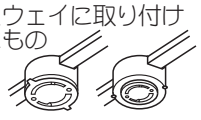
・がたついたり、破損しているもの



・斜めに取り付けられたもの



・ケースウェイに取り付けられたもの



●販売店、工事店に配線器具の交換を依頼してください。（交換には資格が必要です。）

必ず守る

■交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

■ランプは器具に表示されたものを使用する

間違った種類、ワット数のランプを使用すると、火災のおそれがあります。

■器具に布や紙など燃えやすいものをかぶせない

火災のおそれがあります。

■異常を感じた場合、速やかに電源を切る

異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口(保証書内在中)にご相談ください。

分解禁止

■器具を改造したり、部品交換をしない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

必ず守る

■器具と被照射面は、60cm以上離す

守らないと、被照射面の変色や火災のおそれがあります。

（ドア・家具・布などの可燃物）

⚠注意

必ず守る

■照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。
点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。
●1年に1回は同梱の「安全チェックシート」(保証書内在中) に基づき自主点検してください。

接触禁止

■点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない
やけどの原因となることがあります。
●お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプやその周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

■浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しない
火災、感電の原因となることがあります。
●この器具は防湿、防雨型ではありません。

必ず守る

■付属の梱包材は取り除いて使用する
そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

禁止

■温度の高くなるものを器具の真下に置かない
火災の原因となることがあります。
●器具の真下にストーブなどを置かないでください。

■他の調光器と組み合わせて使用しない
調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると、火災の原因となることがあります。
●販売店、工事店に調光器の取り外しを依頼してください。(取り外しには資格が必要です。)

使用上のご注意

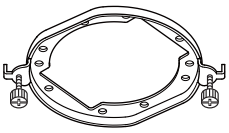
●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮により若干のきしみ音が照明器具から発生することがありますが、異常ではありません。
●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音が入ることがあります。
●照明器具のきわめて近くでは、他の機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。
●蛍光灯はランプに風が当たったり冬場など周囲の温度が低い場合には、明るくなるまでに時間がかかったり、点灯直後にちらつきや移動縞（ムービングストライエーション現象）が発生することがあります。ランプが温まりますと自然に収まりますのでご了承願います。
●非常に短い停電が起こると点灯状態が意図せず切り替わる場合があります。長時間使わないときは、壁スイッチ（壁スイッチがない場合はブレーカ）をOFFにしてください。
●天井、壁、床の色や材質により、リモコンの操作距離が短くなることがあります。
●周囲温度が低いと、点灯直後リモコンで切り替わりにくいことがあります。その場合は、しばらくしてから操作してください。

付属部品の確認

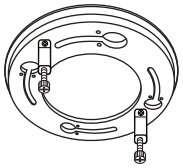
施工する前にまず付属部品をご確認ください

●本体取り付け用付属部品

□ 取付金具(1個)
取付台止めネジ(2本)

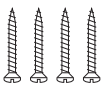


□ 取付台(1個)
本体止めネジ(2本)

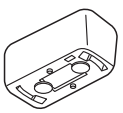


※出荷時は取付台(1個)および本体止めネジ(2本)は、本体に取り付いています。

□ 木ネジ(4本)
(配線器具用 2本
取付金具用 2本)



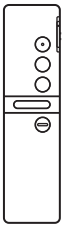
□ 配線器具
(角型引掛
シーリング(1個))



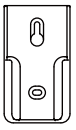
●使用しない付属部品は大切に保管してください。
引っ越しなどで配線器具が変わったときに必要な場合があります。

●照明用リモコン付属部品

□ リモコン送信器(3CH)
ダイレクト切替・調光用
HK9327K(1個)



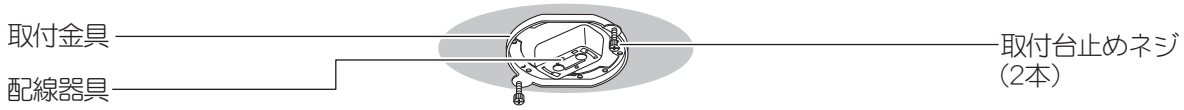
□ リモコン
ボックス
(1個)

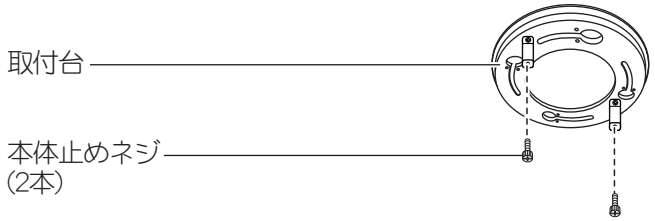


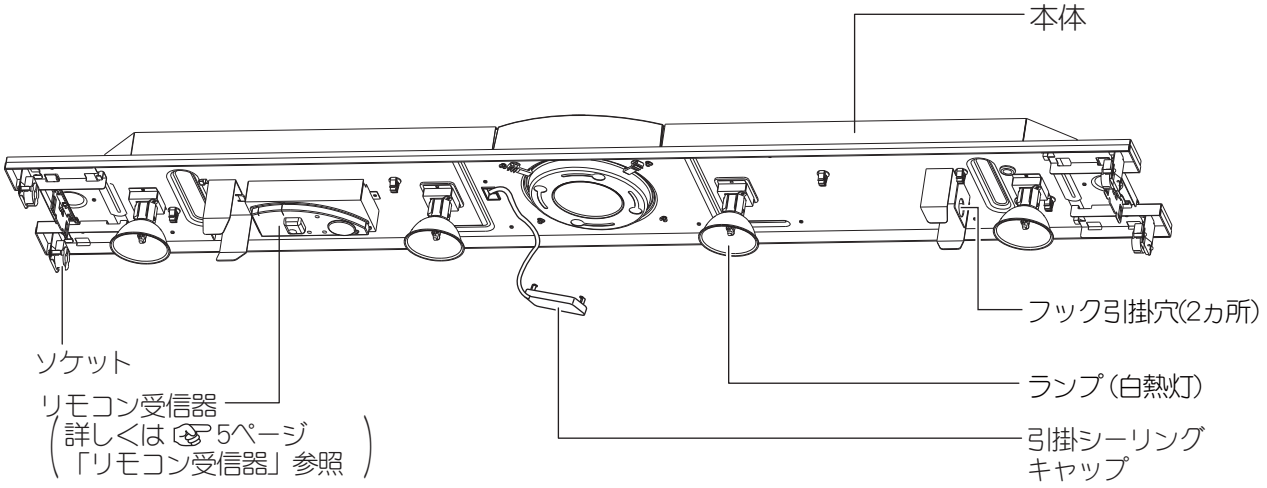
□ 単3形乾電池
(2本)

□リモコン
ボックス用
木ネジ(2本)

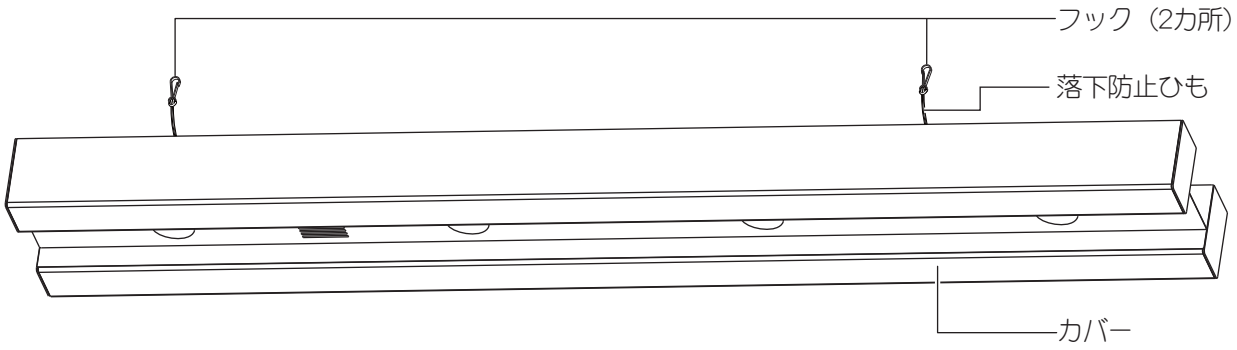
照明器具


取付金具
配線器具
取付台止めネジ
(2本)

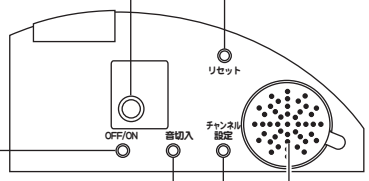

取付台
本体止めネジ
(2本)


本体
フック引掛穴(2ヵ所)
ソケット
リモコン受信器
詳しくは 5ページ
「リモコン受信器」参照
ランプ(白熱灯)
引掛シーリング
キャップ

ランプ


フック（2カ所）
落下防止ひも
カバー

リモコン受信器



リモコン受信部
リモコンからの信号を受けます。
（傷つけたり、汚したりしないでください。）

OFF/ONスイッチ
押すごとに点灯/消灯します。

音切入スイッチ
押すごとにリモコン操作時の音を切/入します。
無音で「切」、「ピッ」と音がして「入」。

チャンネル設定スイッチ
器具のチャンネルを設定する場合に使用します。
☞ 10ページ「器具のチャンネルを変更する」参照

リセットスイッチ
動作が異常の場合に押します。(注)
☞ 12ページ「故障かな？と思ったら」参照
(注) 点灯時の明るさがお買い上げ時の設定に戻ります。

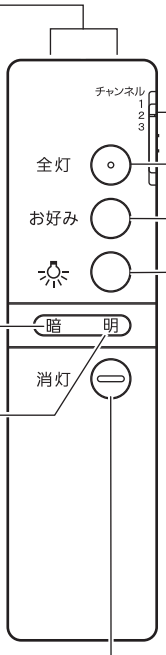
●器具のチャンネル設定が解除されるため、再度設定する必要があります。

リモコンで設定する
①リモコンのチャンネルを希望のチャンネルに合わせる
②器具に向けてリモコンのいずれかのボタンを押す
⇨「ピピーッ」と音がして設定完了

リモコンがない場合
OFF/ONスイッチを押す
⇨ チャンネル1 に設定されます

スピーカー

リモコン



リモコン送信部

チャンネルスイッチ
操作したい器具のチャンネル 1～3 に合わせて使います。
（☞ 10ページ「器具のチャンネルを変更する」参照）

暗ボタン
蛍光灯を100%～約35%に、白熱灯を100%～0%に明るさを変えることができます。

明 ボタン
蛍光灯を約35%～100%に、白熱灯を0%～100%に明るさを変えることができます。

全灯ボタン
蛍光灯と白熱灯が同時に点灯します。

お好みボタン
蛍光灯+白熱灯各々がお好みの明るさで点灯します。

消灯ボタン
消灯します。

☼ ボタン
白熱灯のみ点灯します。
●このボタンは、太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

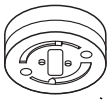
照明器具を取り付ける　安全のため、電源を切ってから行ってください

1 天井の配線器具を確認して、取り付けの準備をする

取り付けできる配線器具

角型引掛シーリング
品番：WG1000

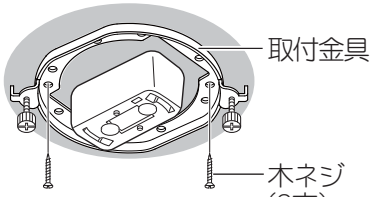
丸型フル引掛シーリング
品番：WG5005
WG5015



丸型引掛シーリング
品番：
WG4000, WG4420,
WG4005, WG4425,
WG1500

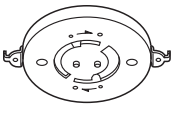
付属の取付金具の取り付けが必要です

補強材のある場所に付属の木ネジ(2本)で
取付金具を取り付ける

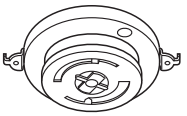


⚠警告	取付金具が十分な強度で取り付けられていることを確認する 落下によるけがのおそれがあります。

角型引掛シーリングが取付金具のほぼ中央にくるように取り付けてください。端部に取り付けると取付台が取り付けられない場合があります。



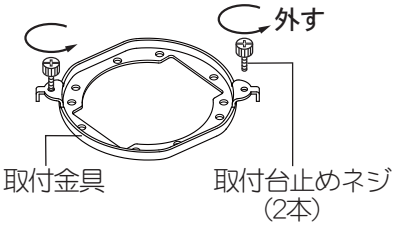
引掛埋込ローゼット
品番：WG6000
WG6420
引掛露出ローゼット
品番：WG6130



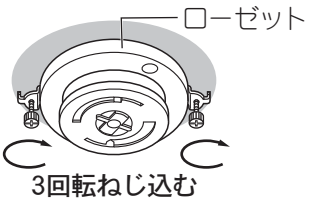
フル引掛
ローゼット
品番：WG6005

付属の取付台止めネジの付け替えが必要です

①取付金具に付いている取付台止めネジを外す



②ローゼットに取付台止めネジを仮止めする



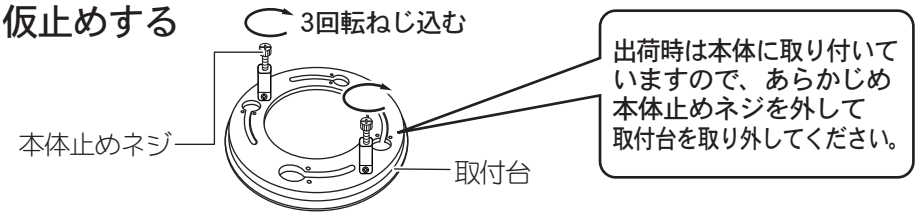
●ボルトによる取り付け、アウトレットボックスに取り付ける場合は、販売店、工事店に依頼してください。
ボルト取り付け、アウトレット取り付けをする場合は別売りの取付金具（補修部品：HK956000SU）が必要です。

上記 5タイプ以外の配線器具

同梱の配線器具に取り替える
（販売店、工事店に配線器具の交換を依頼してください。
交換には資格が必要です。）

2 取付台に本体止めネジを仮止めする

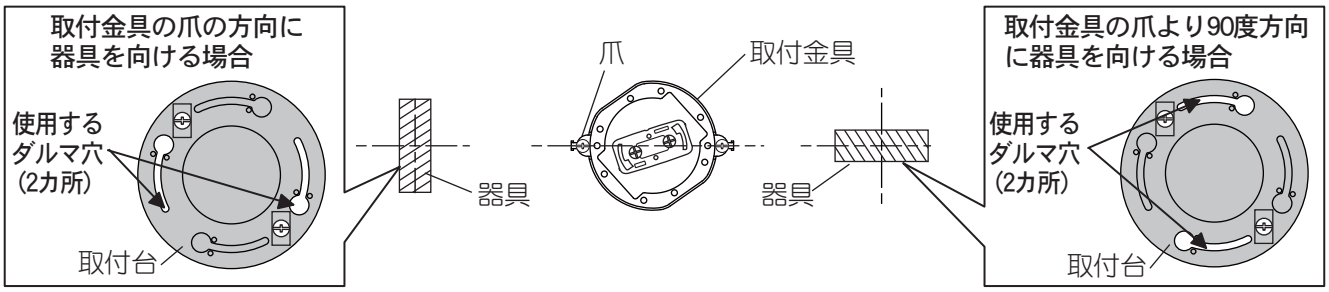
①一旦、本体止めネジを外す
②本体止めネジを取り付け台に
3回転ねじ込む



3 器具の方向を合わせるために取付台の使用するダルマ穴を確認する

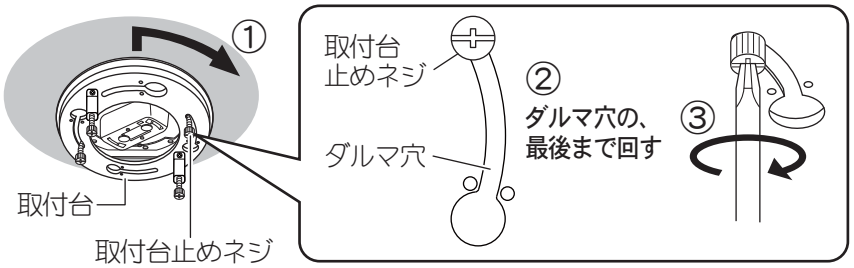
（4カ所中、2カ所使用します）

※器具の位置が、取付台の取り付け方向で変わります。下図のように、取付金具の「爪」を基準に器具の位置を決め、取付台の「使用するダルマ穴」を選択してください。



4 取付台を取り付ける

①取付台止めネジと手順 **3** で確認した
取付台のダルマ穴を合わせて押し上げ、
右に回す
②ダルマ穴の、最後まで回して止める
③ドライバーなどで取付台止めネジを
締め付ける



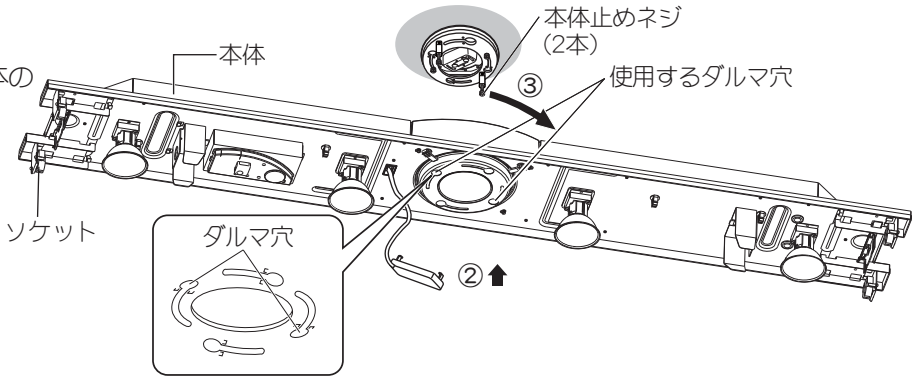
5 取り付け前にランプ（2本）を外す

ランプを90度回して外す

☞11ページ「ランプを交換する」手順 **3** 参照

6 本体を取り付ける

①器具の方向を合わせるために本体の
使用するダルマ穴を確認する
（4カ所中、2カ所使用します）
②本体止めネジとダルマ穴
を合わせて、押し上げる
③本体を右に回す

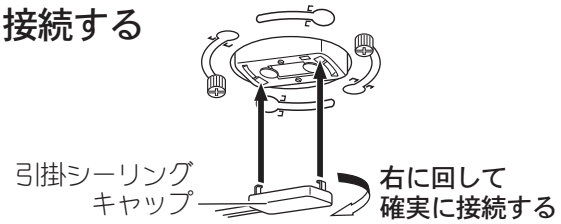


7 本体止めネジを締め付ける

確認

●取り付け後、本体ががたついたり、容易に
回転したりしないことを確認する。

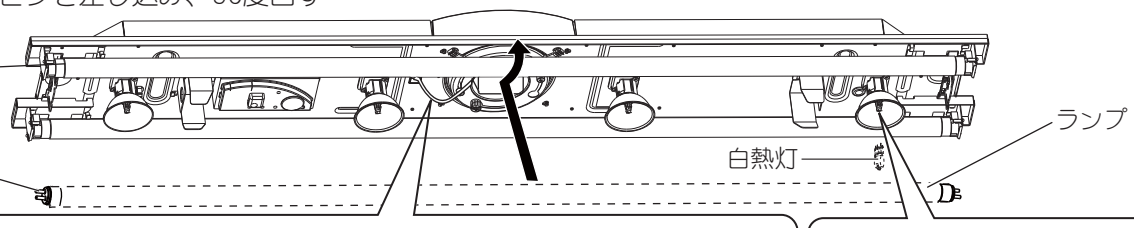
8 引掛シーリングキャップを接続する



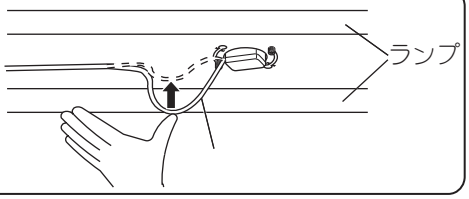
照明器具を取り付ける　安全のため、電源を切ってから行ってください

9 ランプを取り付ける

ソケットにピンを差し込み、90度回す



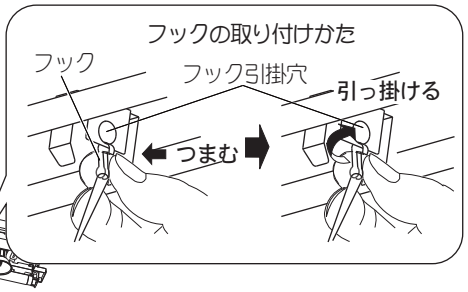
●コードがランプに接触していたり、垂れ下がっている場合は、コードを横に押し付け寝かせてください。

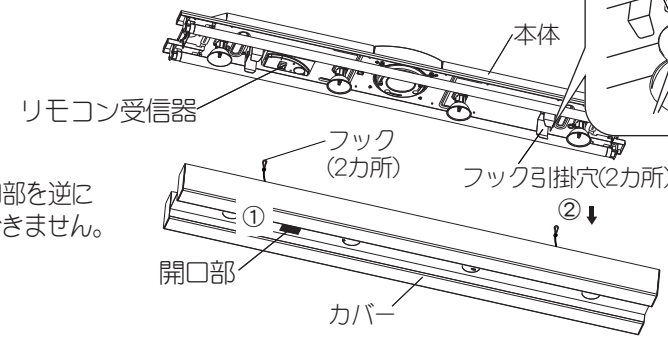


●ランプ(白熱灯）の取り付けは
☞11ページ
「ランプを交換する」
白熱灯参照

10 カバーのフックを取り付ける

①リモコン受信器とカバー開口部の方向を合わせる
②カバーを本体と平行に持ち、カバーのフック(2カ所)を本体のフック引掛穴(2カ所)に引っ掛ける



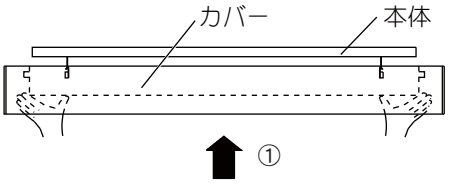


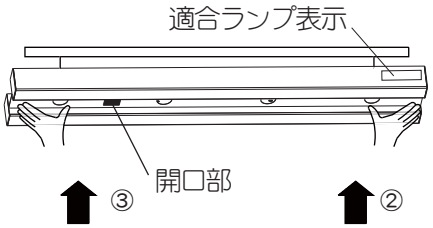
取り付け時のご注意

●リモコン受信器とカバー開口部を逆に取り付けるとリモコン操作できません。

11 カバーを取り付ける

①カバーを本体と平行に持ち上げる
②適合ランプ表示側を押し上げる
③開口部側を「パチン」と音がするまで押し上げる





取り付け時のご注意

●左右が確実に入っていること。
（取り付けにくい場合は、本体を押さえて、カバーを押し上げてください。）

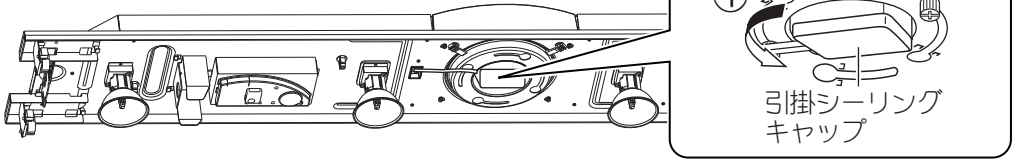
本体の外しかた

1 カバー・ランプを外す

☞ 11ページ
「ランプを交換する」手順 **1** ～ **3** 参照

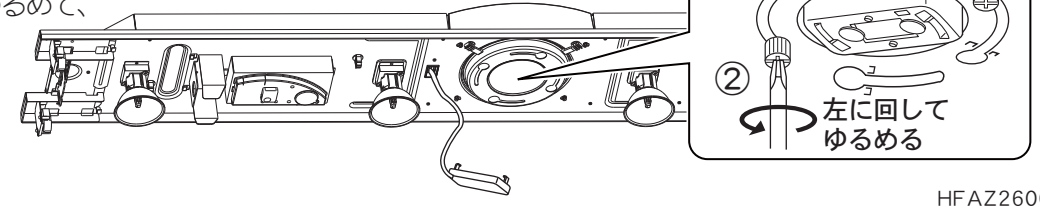
2 引掛シーリングキャップを外す

①左に回して外す



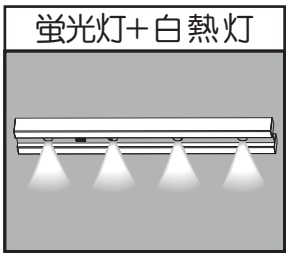
3 本体を外す

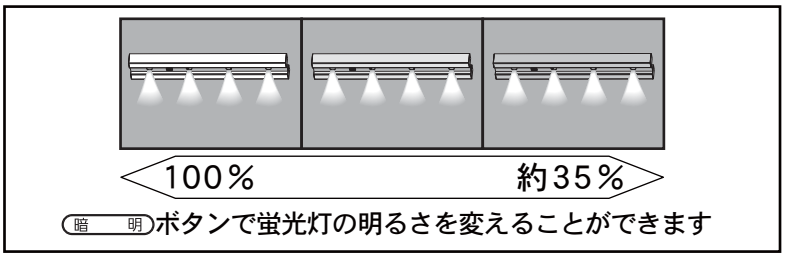
②本体止めネジをゆるめて、本体を左に回す



リモコンで操作する

●「全灯」ボタンを押すと、蛍光灯と白熱灯が同時点灯します。
(お買い上げ時は蛍光灯100％、白熱灯100％で点灯します。)

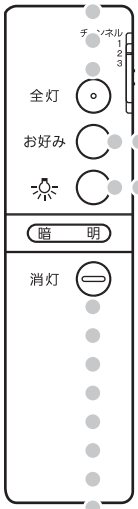




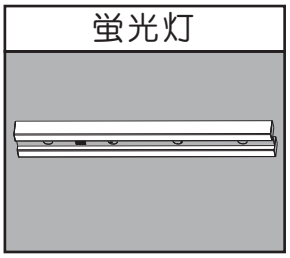
●蛍光灯の明るさを変えても記憶しません。
「全灯」ボタンを押した時の、蛍光灯の明るさを変える場合は
☞10ページ「全灯ボタンを押したときの明るさを変更する」参照

●「お好み」ボタンを押すと、蛍光灯と白熱灯を各々、お好みの明るさで点灯します。
(注)(お買い上げ時は蛍光灯約60％で点灯します。)

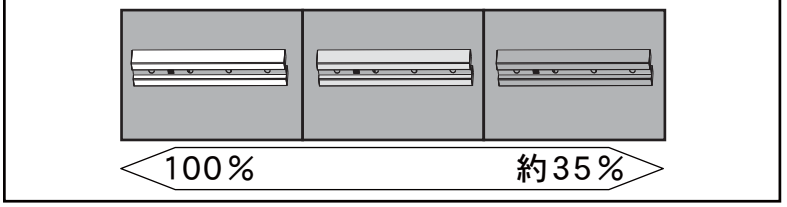
各々の明るさ設定方法 お好み ◯ を押すたびに設定する部位が切り替わります。



同梱
リモコン
送信器
HK9327K

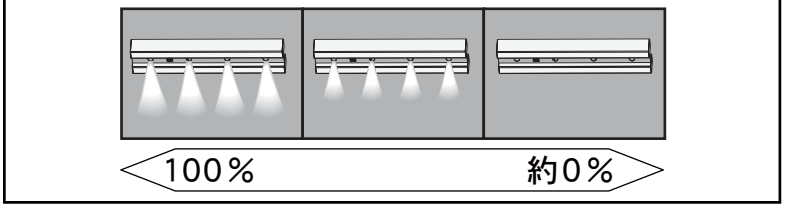


① 蛍光灯の明るさを変える
暗 明ボタンを押すと
蛍光灯を100％～約35％で明るさを変えることができます。



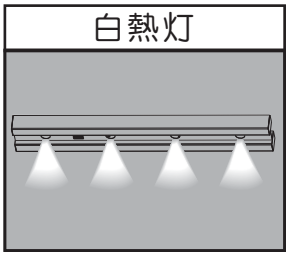
お好み ◯ で切り替え

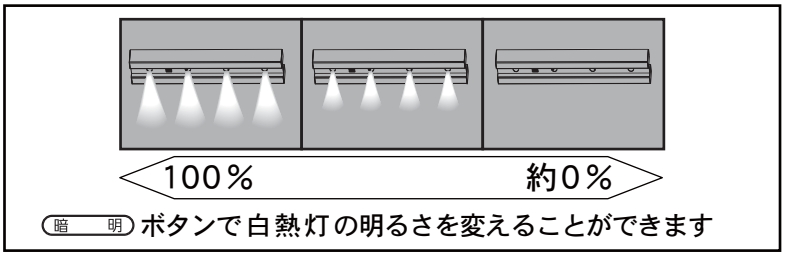
② 白熱灯の明るさをを切り替える
暗 明ボタンを押すと
白熱灯が100％～0％で明るさを変えることができます。



● 各々変えた明るさは記憶され、「お好み」ボタンを押すと、設定した明るさで再現します。

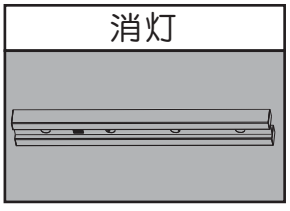
●「☼」ボタンを押すと、白熱灯のみ点灯します。
(お買い上げ時は白熱灯100％て点灯します。)





●くつろぎのあかりや常夜灯としてお使いいただけます。

●「消灯」ボタンを押すと、消灯します。



更に 明ボタンを押すと、白熱灯が点灯します

注) 蛍光灯または白熱灯を点灯状態から消灯させたときは、ゆっくり消灯します。

全灯ボタンを押したときの明るさを変更する

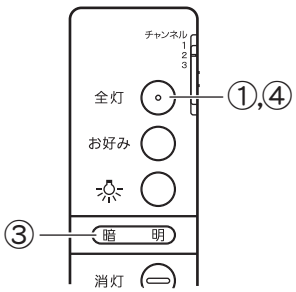
全灯ボタンを押したときの蛍光灯の明るさを100％～約35％の範囲で設定することができます。

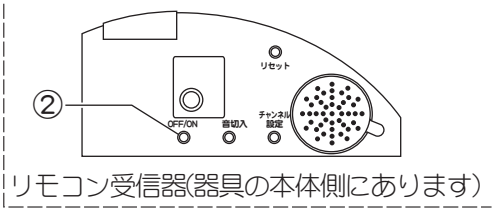
①リモコンの　全灯（・）を押す

②リモコン受信器のOFF/ONスイッチを「ピッ」と音がするまで押し続ける

③リモコンの　暗　明　で蛍光灯の明るさを変える

④リモコンの　全灯（・）を押す
➡「ピピーッ」と音がして変更完了





リモコン受信器(器具の本体側にあります)

器具のチャンネルを変更する

リモコンのチャンネルを変更すると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。

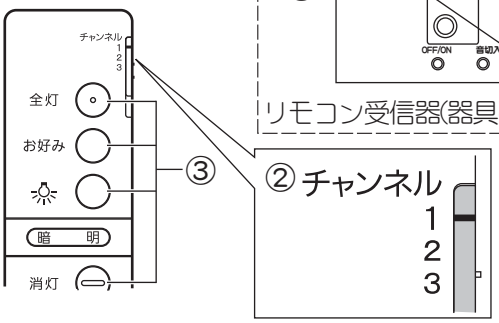
①リモコン受信器のチャンネル設定スイッチを押す

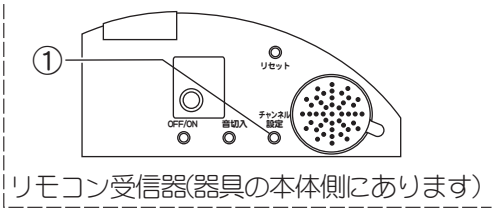
②リモコンのチャンネルスイッチを希望のチャンネルに合わせる（例：チャンネル1）

③リモコンのいずれかのボタンを押す
➡「ピピーッ」と音がして変更完了

メモ

●2台以上の器具をご使用の場合、各器具に違うチャンネルを設定しておけば、リモコンのチャンネルスイッチを切り替えて、1台のリモコンでそれぞれの器具を操作できます。



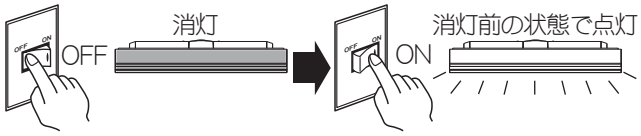


リモコン受信器(器具の本体側にあります)

壁スイッチで操作する

消灯する・点灯する

●壁スイッチをONすると、消灯前の点灯状態で点灯します。
「お好みの明るさ」点灯状態でOFFすると、次にONしたときは「お好みの明るさ」で点灯、
「白熱灯」点灯状態でOFFすると、次にONしたときは「白熱灯」で点灯します。



メモ

●壁スイッチをONしても点灯しない場合は、　壁スイッチを素早く（約2秒以内）OFF→ONするか、リモコンで点灯状態を切り替えてください。
●それぞれの点灯状態は、リモコンにて記憶させた明るさとなります。

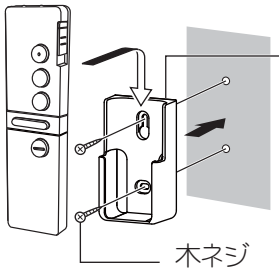
点灯状態を切り替える

●壁スイッチを素早く（約2秒以内）OFF→ONすると、点灯状態が切り替わります。

メモ

●それぞれの点灯状態は、リモコンにて記憶させた明るさとなります。
●壁スイッチ1個で2台以上の照明器具を使用しないでください。点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。
●リモコンで消灯した場合、壁スイッチがONのままだと待機電力（1W以下）を消費しています。長時間使わないときには節電のため壁スイッチをOFFにしてください。

リモコンボックスについて

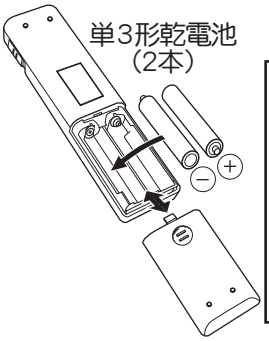


リモコンボックス

紛失防止用に壁掛け収納できます。

●リモコンは必ず器具に向けて操作してください。

電池交換について



電池交換時期の目安

・乾電池は半年を目安に交換してください。

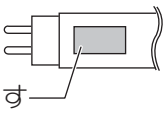
⚠注意	・指定以外のものや新・旧の電池をまぜて使わない。 ・極性表示の通り⊕⊖を正しく入れる。 ・使用後、可燃ゴミにまぜたり、燃やしたりしない。 電池の破裂や液もれの原因となることがあります。

ランプを交換する

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

蛍光灯

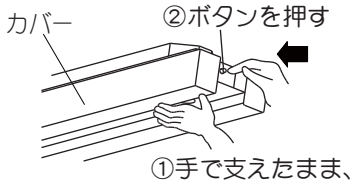
●ランプの明るさが低下したり、消灯や点滅を繰り返すとランプの寿命です。
パナソニック製ランプをお求めください。
●ランプが1本でも寿命になると、2本のランプは正常点灯しません。
寿命のランプを交換すると2本とも正常点灯します。
●種類が同じで光色の異なるランプとは互換性があります。



1 カバーの取り外しかた

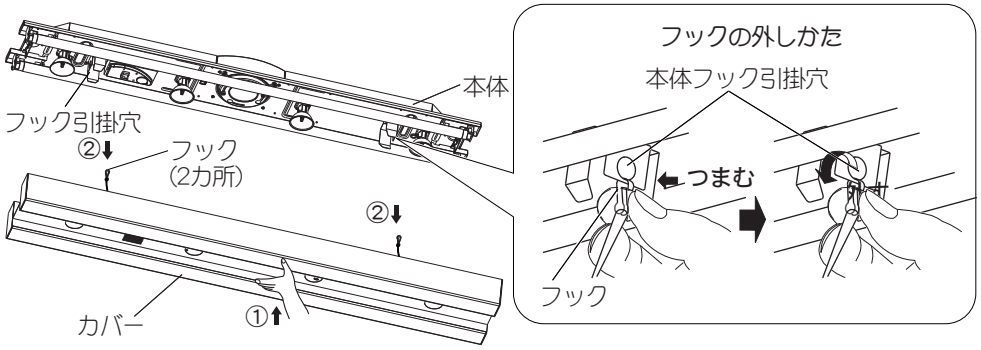
①カバーを手で支えたまま、
②ボタンを押して静かに下ろす

⚠注意	消灯してランプが冷めてから行うこと。 落下、やけどのおそれあります。



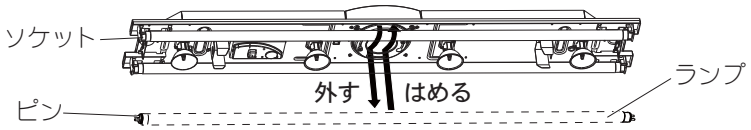
2 カバーのフック（2カ所）を外す

①カバーを支えながら
②フック(2カ所)を本体の
フック引掛穴(2カ所)から外す



3 ランプを交換する

●取り外し・・・ランプを90度回して外す
●取り付け・・・ソケットにピンを差し込み、90度回す



4 カバーのフック（2カ所）を取り付ける

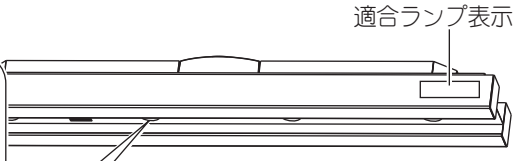
☞ 8ページ「照明器具を取り付ける」手順 **10** 参照

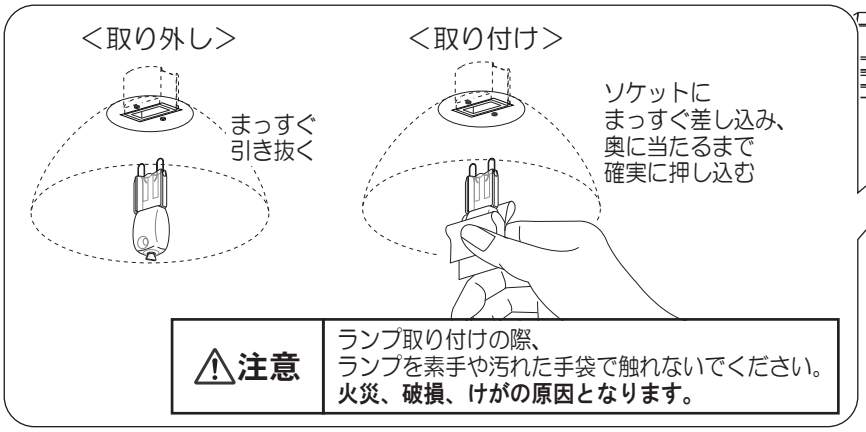
5 カバーを取り付ける

☞ 8ページ「照明器具を取り付ける」手順 **11** 参照

白熱灯

●ランプは器具表示のOSRAM製ランプをお求めください。
●ランプの種類は器具に表示しています。
間違った種類・ワット数のランプを使用すると、火災の原因となります。
●点灯直後に、ランプから煙が発生する場合があります。
ランプに付着したほこりなどによるもので数分するとなくなります。



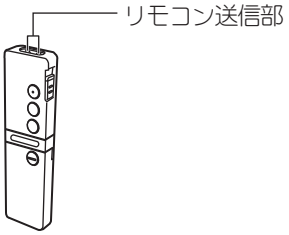


⚠注意	ランプ取り付けの際、 ランプを素手や汚れた手袋で触れないでください。 **火災、破損、けがの原因となります。**

お手入れについて

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。
・汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
●シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。
●リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。
ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。



●電池は半年を目安に取り替えてください。
※付属の電池は、保管状況により性能が落ちることがあります。

故障かな？と思ったら

下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	処　置
点灯しない	ランプ口金がソケットから外れている	ランプ口金をソケットに差し込む（☞11ページ「ランプを交換する」手順 **3** 参照）
	ランプが切れている	ランプを交換する（☞11ページ「ランプを交換する」参照）
	壁スイッチがOFFになっている	壁スイッチをONにする または、壁スイッチを素早くOFF→ONにする（☞10ページ「壁スイッチで操作する」参照）
リモコンで操作できない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルを変更して操作する
	カバーの取付方向が間違っている	☞8ページ「カバーのフックを取り付ける」参照

左記の処置を行っても現象が続く場合

① 電源をいったん切り、再度入れる
② 器具内スイッチのリセットスイッチを押す
③ 器具のチャンネルを設定する（☞5ページ「リモコン受信器」参照）

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、販売店、工事店、お客様ご相談窓口（保証書内在中）にご相談ください。

仕様

付属ランプの品名は、ランプに表示しています。ご確認ください。

光源	使用電圧	周波数	消費電力	付属ランプ
蛍光灯	AC100V	50/60Hz共用	165W（リモコンOFF時、1W以下）	32形Hf蛍光灯 FHF32E× 2本
白熱灯				25形ハロゲン電球（HALOPIN）（110V用・G9フロスト） 4個

保証とアフターサービス

よくお読みください

保証書について

保証書は、必ず「販売店名、購入日」などの記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げの日より1年間です。
但し安定器については3年間です。
（ランプ等の消耗品は除きます。）

※保証の例外　24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

補修用性能部品の保有期間

当社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

修理を依頼されるとき

●**保証期間中は**
お買い上げの販売店まで保証書をそえて商品をご持参ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

●**保証期間を過ぎているときは**
お買い上げの販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

●**アフターサービスについてのご不明な点は**
修理に対するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはお近くのパナソニック電工修理ご相談窓口（別紙一覧表ご参照）にお問い合わせください。

パナソニック電工株式会社　インテリア照明事業部　〒571-8686　大阪府門真市門真1048